



会の企画・運営をしていただきました。



令和6年

二十歳を祝う会

むすぶ「結」



誓いの言葉(抜粋)

民法改正により、成年年齢が十八歳に引き下げられました。二十歳の節目となる今年度こそ、一人の大人として生きていく出発点であると考えています。

また、急速に変化する社会や生活様式など、私たちの暮らしや生き方を大きく変えなければならぬ時代を迎えています。このような時代に生きる私たちに、自分なりの新たな生き方を開拓する力が求められているのだと思います。

ふるさと垂井に生まれ育ったことに誇りを持ち、ふるさとを未来へ繋いでいく担い手として、これからの人生を歩んでいくことをここに決意します。そして、生涯にわたり、自分たちの手で新しい生き方を創造し、新しい社会づくりをまい進していくことを、ここに誓います。



令

和6年垂井町二十歳を祝う会を1月7日(日)に文芸会館で開催しました。

今年、平成15年4月2日から平成16年4月1日までに生まれた315人が二十歳を迎え、そのうち17人が実行委員として会の企画・運営を行いました。会は、伊藤航希さんと福本大晟さんによる書道パフォーマンスで、中学時代の恩師がサプライズで登場するなど大いに盛り上がりしました。

式典の最後には、実行委員を代表して本間丈太郎さんと三輪あいさんが誓いの言葉を述べ、二十歳としての決意を新たにしました。

出席したみなさんは、旧友との再会に笑顔と喜びにあふれ、写真を撮るなどして、それぞれの想いを胸に、新たな一歩を踏み出しました。

テーマは「結」
むすぶ

二十歳の節目に大人としての責任を自覚し、今まで自分を支えてくれた、家族、友人、地域の人、恩師との繋がりを再認識し、それぞれの夢や目標に向かって進んでいく中で、その繋がりを忘れず大切にすることも、過去から現在、そして未来へ人と人、心と心をつなげていきたいという思いが込められています。

